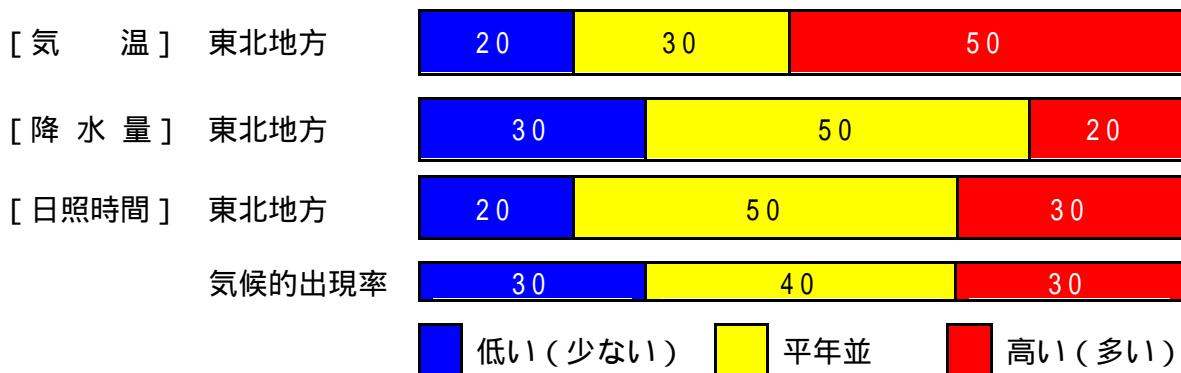


# 東北地方 1 か月予報の解説(予報期間:7月15日~8月14日)

平成12年7月14日 仙台管区気象台

## 1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



[気温]: 東北地方では「高い」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は30%です。「低い」の可能性は20%と小さい。

[降水量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は「少ない」で、その確率は30%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい確率は「多い」で、その確率は30%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

## 2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

### 向こう1か月

期間の初めは前線や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、太平洋高気圧に覆われて平年同様晴れて気温の高い日が多いですが、低気圧や前線の影響で一時曇りや雨の日がある見込みです。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約18日です。

### 各予報期間の天候の特徴

1週目…………… 前線や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多いでしょう。  
(7月15日~7月21日)

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約3日です。

2週目…………… 前線や低気圧の影響を受け、曇りや雨の日もありますが、平年同様  
(7月22日~7月28日) 晴れる日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

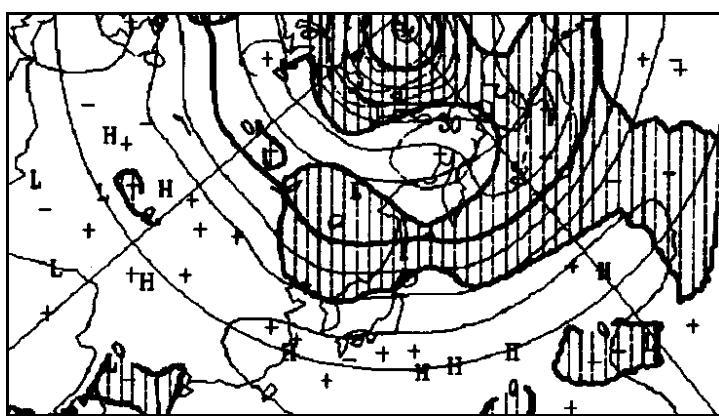
平年の晴れ日数は東北地方で約4日です。

3~4週目…………… 高気圧に覆われ晴れる日が多いですが、低気圧の影響で、一時曇り  
(7月29日~8月11日) や雨の日がある見込みです。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約8日です。

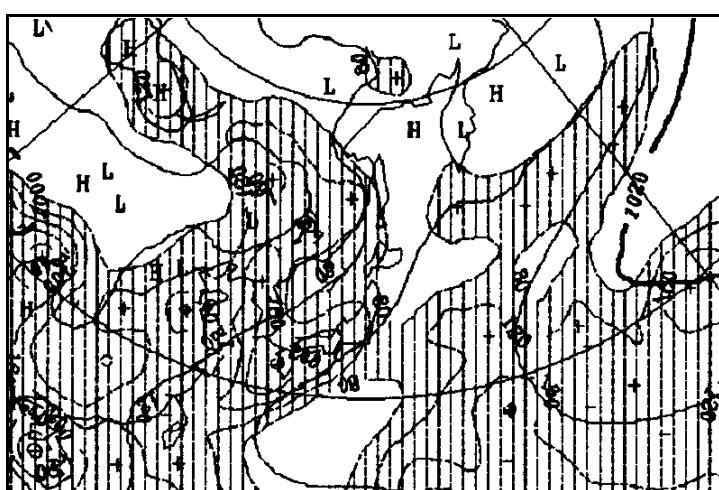
### 予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



#### ・500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近は平年並～弱い正偏差。夏型の安定した晴天をもたらす太平洋高気圧は平年より強めで、日本の南岸から中国大陸東岸に張り出す予想。日本付近では偏西風の蛇行は小さく、東西流の卓越する場となり、等高度線の間隔も広いため、低気圧の影響を受けても一時的な見込み。

週別（図略）に見ても、日本付近は正偏差におおわれ、太平洋高気圧の勢力も南で強い予想。



#### ・地上気圧と降水量

月平均でみると、太平洋高気圧は日本の南へ張り出す。一方オホーツク海には、高気圧が予想されるが、低圧部は中国東北区から北海道の北に伸びている。

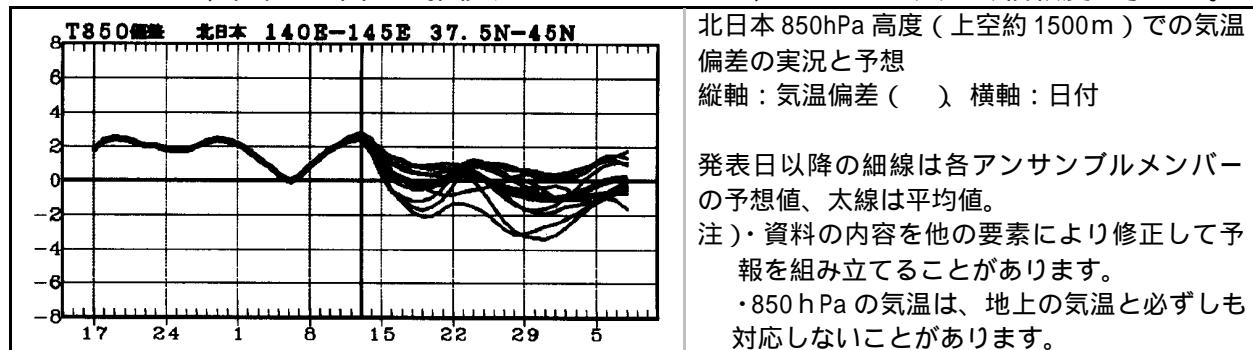
降水域は西日本を中心広がっているが、東北地方にはまとまったものはかかっていない。

週別（図略）でも、まとまった降水域は東北地方にはかからない。

ただし、太平洋高気圧の縁辺にあたっているので、不安定な天気となる可能性がある。

### 3. 北日本 850 hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850 hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると 1 週目に高極から平年並となり、2 週目後半からは平年を下回って推移する。1 週目から強い低温を予想するメンバーもあるが、平年を上回って推移するメンバーもあり、ばらつきが大きく信頼度は小さい。

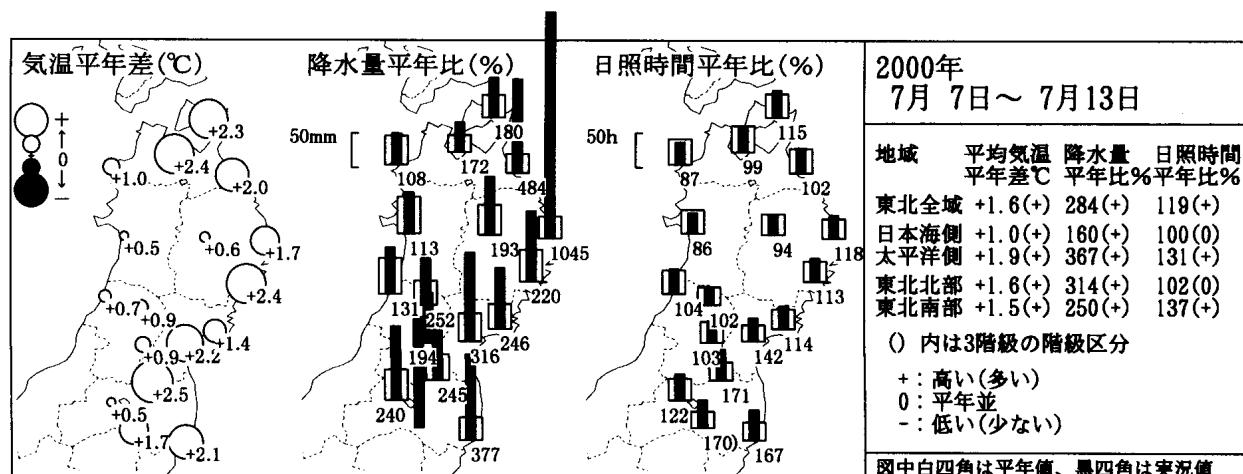


注: 1か月予報では、よく似た初期値から出発した10個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します(この手法をアンサンブル予報といい、10個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます)。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

### 4. 最近1週間(7月7日~7月13日)の天候の経過

この期間、8~9日にかけて台風第3号が日本のすぐ東海上を北上したため、東北地方は太平洋側を中心に大荒れの天気となった。8日には日降水量が、宮古で 319.0mm(通年1位) 仙台で 124.0mm(7月として1位)、八戸で 112.5mm(7月として1位)などを記録するなど各地で大雨となった。その後、高気圧に覆われおおむね晴れて、真夏日となるところもあった。12~13日にかけては上空に寒気を伴った気圧の谷の接近で大気の状態が不安定となり、雷雨となるところもあった。

平均気温は、東北地方で平年差+1.6 と平年より高かった。降水量は、東北地方で平年比 284% と平年より多かった。日照時間は、東北日本海側で平年比 100% と平年並、東北太平洋側で平年比 131% と平年より多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

### 5. 梅雨明けについて

	平年の梅雨明け	昨年の梅雨明け
東北南部	7月23日頃	7月24日頃
東北北部	7月26日頃	7月26日頃